



おばあちゃんの認知症に対して
中村先生から症状を改善したり、



病気の進行を遅らせたりする
アリセプトという薬が処方されました。



これからのおばあちゃんの介護について
相談に行った



地域包括支援センターの
ケアマネージャーがセットしてくれて、



おばあちゃんの介護について
ケア会議が開かれました。



地域包括支援センターのケアマネージャー、
かかりつけ医の中村先生、



デイサービスセンターの相談員などが集まって、
おばあちゃんの介護について



話し合いをしてくれるのです。
お母さんがおばあちゃんに言いました。



「おばあちゃん、
デイサービスセンターに行ったら



お友達もできて、いいと思うんだけど、
どうですか」



「私はまだまだ元気じゃけん、
デイサービスなんかには行かないよ」



「車で送り迎えしてくれて、
みんなと一緒に話したり、



お食事したりして、俳句やお習字、カラオケなど也能するそうよ」



数日後、おばあちゃんは、
町内のデイサービスセンターへ見学に行きました。



はじめは、あまりデイサービスに興味を示さなかったおばあちゃんが、



手芸をしているグループのところで足を止め、
みんなの作業をじっと眺めていました。



「おばあちゃん、やってみますか」



デイサービスの職員に勧められて、
針と布を手にとりました。



「わしは、若いころ子どもたちに
家庭科で手芸を教えとったんよ」



と言いながら、おばあちゃんは
器用に素敵な小物入れを作り上げました。



おばあちゃんの顔が
輝いているように見えました。